

comachi plus

2024 Annual Report

子育てを、まちでプラスに。

**comachi
plus**

2024 Annual Report

認定NPO法人 こまちぶらす 2024年度年次報告書

神奈川県横浜市戸塚区戸塚町145-6 奈良ビル2F

📞 045-443-6700 ✉ staff@comachiplus.org



こまちぶらす

<https://comachiplus.org>

こまちカフェ

<https://comachicafe.com>

こよりどうカフェ

<https://coyoridocafe.com>

※ 本書の本文・資料等をご使用される場合は、当法人までご一報ください。



こまちぶらすのはじまり

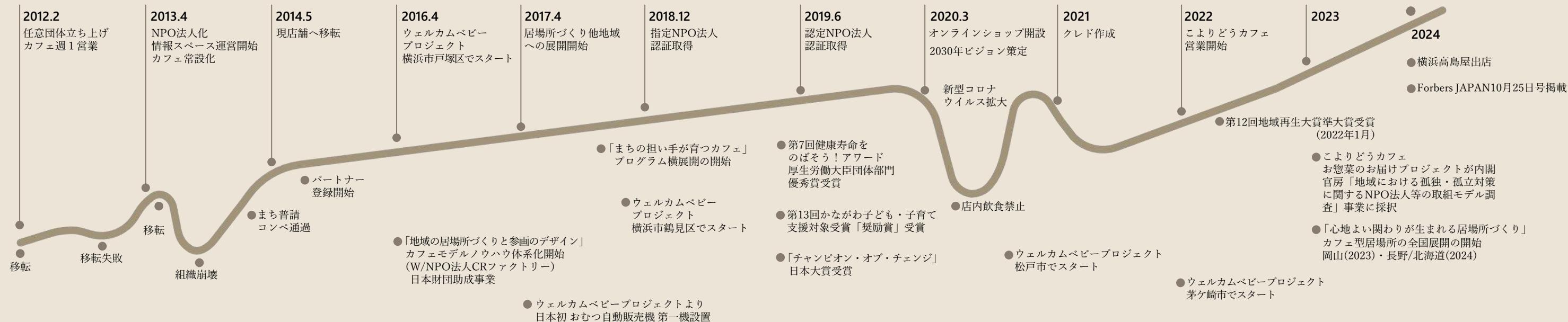
こまちぶらすは、理事長の森自身の出産直後の「何かぽっかり穴があいたような感覚の日々を過ごしたこと」に始まります。その状況から抜け出せたのは、幾つかの偶然やタイミングが重なり、素敵な「まち」の人たちと過ごし、参加する機会に奇跡的に出会えたことでした。こまちぶらすでは、その出会いが「偶然」の重なりや奇跡的にどこから降ってくるのを待つものではなく、仕組みとしてつくっていきたいと思い、活動を始めました。最初に取り組んだのは、必要な情報が適切な方に届くようにする「地域こそだてカレンダー」「幼稚園情報冊子」づくりと、「こまちカフェ」の運営です。カフェはお金も場所もなく週一日、場を間借りするところからのスタートでした。

こまちぶらすのクレド



クレドとはラテン語で「志・信条・約束」を表す言葉で、一人ひとりが活動や団体にどうやって関わっていくか、「自分」と「自分の活動や組織」との約束を表現したもの。

こまちぶらすのあゆみ



こまちぶらすの2030年ビジョン



理事長よりメッセージ

小学校のころに読んだ「ふきのとう」という詩の最後の方に、春風に吹かれて竹やぶがゆれて、雪がとけて「ふきのとう」がぐんと背を伸ばして土の上に顔を出すシーンがあります。

私はその一節がとても好きなのですが、2024年はまさにそんなシーンのような一年でした。2022年～23年にかけて立ち上げたいくつかの事業や場（こよりどうカフェ）が定着し、継続できるようみんなで懸念を絞り、関わってくださる様々な立場のみなさんと、さらに次の絵を描いていくことができました。この一年と一緒に考え、つくれてくださった全てのみなさんに感謝いたします。

2025年度は小さなつぶやきに耳をすませながら、子育てが「まちの力」で豊かになる社会を目指して、遊び心と日常を大切に、みなさんと一つ一つの事業をつくりていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

認定特定非営利活動法人
こまちぶらす 理事長
森 祐美子

こまちぶらすの事業紹介

こまちカフェ

戸塚区内の農家と連携し、季節の野菜をたっぷり使ったランチを提供。平日ランチタイムは見守りボランティアスタッフがいます。ハンドメイド雑貨(haco+)の販売、卵・小麦・乳製品不使用のスイーツの開発・製造・販売のほか、レンタルスペースの貸し出し、イベントの開催も行っています。

地域での居場所となるよう、つながりや仲間を得たり相談したりする関係性を築けるよう運営中です。

QRコード: [こまちカフェ](#)

QRコード: [haco+](#)

こよりどうカフェ

こまちカフェの姉妹店で、400年の歴史を持つ善了寺の境内のお堂にて運営しています。

まちの様々な人にとっての「ヨリドコロ」が増えるよう、こまちカフェ同様ランチの提供等に加えて、金曜日夜のterabaru営業、近隣保育園や就労移行支援事業所との連携にも力を入れ、地域でのゆるやかな出会いのきっかけをつくりています。

QRコード: [こよりどうカフェ](#)

ウェルカムベビー
プロジェクト

「まち全体で赤ちゃんの誕生をお祝いし、子育てを応援できる社会になること」を目指しているプロジェクトです。

横浜市戸塚区において2016年4月に、赤ちゃんと家族をお祝いする気持ちをこめて、地域と企業から「出産祝い」をお送りすることからスタートしました。

QRコード: [ウェルカムベビー
プロジェクト](#)

ただい間のおうち

月1回金曜日の夜に、不登校・ひきこもり・生きづらさを感じている児童・生徒(学齢期)の親子が外に出て、家族以外の第三者と交流できる場を提供しています。

名称には、学校・家庭・ともだちなど様々な場所・関係の「間」のほっとできる場所でありたい、という意味が込められています。

QRコード: [ただい間のおうち](#)

居場所立ち上げ伴走
プロジェクト・IBASHO研究会

誰もが自由に足を運べ、参加できる余白や誰かとつながるきっかけを兼ね備えた「心地よい開けが生まれる」居場所が、他地域でも立ち上げやすく続けるよう、2店舗の運営にて培ったノウハウの共有や学び合いでいます。

QRコード: [居場所立ち上げ伴走
プロジェクト・IBASHO研究会](#)

研修・調査の実施
「3枚の葉っぱ」
ワークショップ等

それぞれの事情のある方々も孤立することなく、まちの様々な人や場所とのつながりの中で思いを共有できるよう、多様な立場の方どうしが互いの思いを知る対話の場を大切にしています。「3枚の葉っぱ」のワークはその対話の手法の一つです。ご要望に応じて、市民の声を活かしたワークショップや研修を、行政や企業でも行っています。

また、活動内容をもとに大学の研究者との共同研究を実施したり、ご依頼に応じて講演に伺ったりもしています。

QRコード: [研修・調査の実施
「3枚の葉っぱ」
ワークショップ等](#)

でこぼこの会

お子さんの発達に不安を持つ保護者・支援者・当事者・発達障害について知りたい方が参加し、おしゃべりや情報交換、勉強をする会です。

月に一度開催し、日常の中でもその方のタイミングでいらしていただけるよう、お待ちしています。

QRコード: [でこぼこの会](#)

ケアラーズカフェ
「えんがわ」

「子育てと介護のダブルケア」に直面している方や、「親のこれから」に不安を抱えている方、介護について早目に知っておきたい方が参加し、気持ちを共有したり情報交換をしたりする場です。

家族内のケアを家族だけで何とかしようとせず、周りに甘えられる世の中になると、そんな場のひとつであることを目指しています。

QRコード: [ケアラーズカフェ
「えんがわ」](#)

ほっとひと息金曜日

小・中・高校生世代の不登校、ひきこもりのお子さんを持つ保護者や支援者が集まり、おしゃべりや情報交換をする会で、月に一度開催しています。

まずは親御さんが元気になることで、子どもにとって家庭が安全な場になると考え、笑顔を取り戻していただけるよう場をつくっています。

QRコード: [ほっとひと息金曜日](#)

戸塚宿ほのぼの商和会
事務局

こまちカフェが店舗の一つとして加盟している『戸塚宿ほのぼの商和会』の事務局を、2016年10月より務めています。

子育てに必要なまちのインフラを考え提案するなど、まちの中で子育てに関わる人を増やしていくきっかけとして役割を担っています。

QRコード: [戸塚宿ほのぼの商和会
事務局](#)

とつかの子育て応援ルーム
「とことこ」
情報コーナーの運営

戸塚区役所内の「とことこ」の情報コーナーの運営を、拠点運営法人より受託・実施しています。

各家庭のニーズにあった、子育てに関するさまざまな情報を情報コンシェルジュがご案内します。

QRコード: [とつかの子育て応援ルーム
「とことこ」
情報コーナーの運営](#)

地域こそだてカレンダー

地域の子育て情報をデータベース化し、ネット検索できるように掲載しています。

拠点運営法人より受託し、たくさんの情報の中から必要な情報をすぐに探しだすことができるよう工夫しています。

QRコード: [地域こそだてカレンダー](#)

2024 highlights!



Comachi cafe

こまちパートナーの方々の「得意」を活かせる場に

これまでパートナーさんには様々な場で活躍をしていましたが、2024年度は特に、こまちパートナーの方々の「やりたいこと」や「得意なこと」を活かせる場としての機能を充実させていきました。例えば、2023年度まではスタッフだけでランチをつくりっていましたが、パートナーさんと一緒につくる日を順次増やしたり、毎週火曜日は午前中のカフェタイムにパートナーさんに絵本を読んでいただく「絵本読み聞かせの会」の取り組みを始めたりしました。



パートナーさんによる
絵本読み聞かせの会



リラの家へのミールサポート



コーヒースタンド

2024年度は、過年に力を入れてきた「産前～出産直後・未就学児～学童期まで」の様々なステージでつながっていく場の展開に力を入れてきました。特にこまちカフェ・こよりどうカフェの両店舗では、こまちパートナーの方々をはじめとする様々な方とともに「心地よい関わりの生まれる居場所」を日々作り続けてきました。

また、そんな場を作りたいと日本各地でチャレンジしている方々向けのプログラムを、各地域の団体とのパートナーシップの元に開催しました。今後にむけ、日本全国の各地においてカフェ型居場所が立ち上げやすく学びあえる環境を整える素地を作った一年間でもありました。

こまちカフェ

2024年度は、店前やコーヒースタンドや地域のイベント等での販売にも力をいれ、新たに知っていただく機会を積極的につくりました。また同時に、近隣小学校の子どもたちが開発したものを販売したり、難しい病気を治療される患者さんとご家族のための宿泊滞在施設（リラの家）への出張料理などを継続したりしています。



Lunch



こよりどうカフェ

開店より2年目となる2024年度は、初年に整えた体制を更にブラッシュアップして日々の運営に取り組みました。オリジナル商品の開発・改良にも力を入れ、味噌玉・チャイ・マフィン・かき氷・ハンバーガーセットなどが好評でした。

休日イベントの様子



coyorido
cafe



こよりどうカフェ店内



muffin



味噌玉



大夫、今日の晩ご飯は代わりにつくるよ！



大人用ごはんセット



お子さま用ごはんセット

こよりどうカフェの
お惣菜について



Coyorido cafe



お菓子部門

カフェに足を運べない遠方の方にもカフェの味やほっとする時間をお届けするお菓子部門。原材料等の価格高騰があるなかで、パッケージやシールのデザインの一新をするなど工夫を重ねました。毎月のクッキー缶「tamatebako」をはじめ、バレンタイン、母の日、ねこの日など季節や行事に合わせた様々な焼き菓子をオンラインショップで販売したり、近隣保育園にお届けしたりしました。

横浜高島屋に出店しました！



2024年10月に高島屋で開催された「LOVE YOKOHAMA」に出店しました。お菓子担当のスタッフ配属のもと、製造から販売までをスタッフのみならず多くのパートナーさんにご協力いただき分担、ご利用いたしました。tamatebako30缶とミニ缶87缶が完売しました。

こまちぶらすの手づくりお菓子
オンラインショップ



Sweets

区内の小学校で米粉の魅力を学ぶ5年生のクラスと交流し、米粉蒸しパンを開発しました。児童がパッケージデザインや地域での発信に取り組み、こまちカフェならびに小学校内で販売をする活動に発展するなど、お菓子づくりを接点に地域の活動につながる新しい価値を創出することができました。



2023年度の岡山県での開催に引き続き、2024年度は長野県と北海道でそれぞれ、「心地よい関わりが生まれる居場所づくり」について8時間にわたる講座を開講(リアル&オンライン)しました。カフェを1日実際に運営する「1 DAYこまちカフェ」インターナショナルプログラムなどを通じて、受講生一人ひとりが自身の構想をじっくりと練って発表するプログラムとなりました。



北海道

4月～6月までは長野県千曲市をメインに、ちくままちづくり文化祭実行委員会さんとの共催、特定非営利活動法人長野県NPOセンターさんのご協力にて12名の方々がご参加、12月～2025年2月までは、札幌市内で“ハコニワ食堂”を開いていらっしゃる一般社団法人haconiwaさんとの共催で、9名の方々がご参加くださいました。



長野



個人も団体も、自分たちだけで抱え込まなくていいこと、周りを見渡せば、応援してくれる存在や、一緒に歩める相手がいること、寄り添ってくれる先輩がいること、その心強さを感じながら、安心して様々なチャレンジを楽しめる環境が地域を越えてあちこちに増えていくこと、その先で、様々な地域に居場所が増えていくことに向けて、私たちこまちぶらすも動き続けていきたいと考えています。

(※なお、この講座は2023年8月～9月に実施したクラウドファンディングでいただいたご支援を元に開催しております。)

ウェルカムベビー プロジェクト

全国4か所に広がったウェルカムベビープロジェクト。
4つの支部で贈った出産祝いは横浜市戸塚区で702件、横浜市鶴見区で346件、千葉県松戸市で296件、神奈川県茅ヶ崎で115件と、合計1459件となりました。



2024年度の出産祝い



babysy

「3枚の葉っぱ」 ワークショップ

「3枚の葉っぱ」ワークショップは、それぞれの事情のある方々も孤立することなくまちの様々な人や場所とのつながりの中で思いを共有できるよう設計された対話の手法の一つです。コロナ禍では大人数で集い対話の席に着くことが難しく、とつかフェューチャーセッションをはじめ、企業や行政に伺ってのリアルの場での開催は一時できなくなっていましたが、2024年度にはコロナ禍以前のように実施することができます。

とつかフェューチャーセッション

11月7日に開催した第15回目のテーマは「子育ての今とこれから」。子育ての現状と「まちで子育て」が当たり前になる未来に向けて、ご参加者の皆さんで考えました。



行政や企業での研修も行いました

2024年7月 企業の主催による、産休育休取得者・復帰者向け「社内交流会」の企画・運営

2025年1月 自治体主催による「男性育児休業取得促進セミナー」の企画・運営

Welcome Baby

紹介動画が完成しました！



ウェルカムベビープロジェクトに関わる人や過程、思いについての紹介動画が完成しました！ぜひご覧ください。



Workshop



視察受け入れ・講師派遣・講演会もたくさんあった一年間でした

ワークショップ同様に、コロナ禍で下火になっていた視察の受け入れ・講師派遣や講演会のご依頼も多くいただいた一年間でした。

視察では特に学生さんが卒業論文や研究のためにいらして下さったり、他のNPO法人やケアアラザの方々からのご依頼を頂戴したりしました。



ニューオリンズとワシントンにて登壇



ロサンゼルス日本総領事館にて登壇

講師派遣や講演会では、厚生労働省重層的支援体制整備事業ワーキンググループで理事長の森が講師を務めたほか、日本を飛び出してザルツブルクグローバルセミナーに参加したり、ロサンゼルス日本総領事館にて登壇する等、広がりが出てきています。

その他、大学との共同調査や共同研究等も進むなど、子育てが「まちの力」で豊かになる社会に向けて、様々な機関との連携が進みました。



講師派遣

Forbes JAPAN 10月25日号に掲載

12年間の日々の試行錯誤に目をとめていただいたのか「今注目のNPO 50」としてForbes JAPAN(10月25日号)に掲載されました。

Forbes JAPANは、未来を切り開こうとする人々に「世界中の良いシードとストーリー」を届け、媒介することで社会の進化に役立ちたいと刊行されている、100年を超える歴史をもつ雑誌です。

私たちの日々の活動を「良いシードとストーリー」としてとらえていただけたことを大変嬉しく思っています。



Forbes JAPAN
<https://forbesjapan.com/articles/detail/74523/page8>



Yay!

スタッフ紹介の記録 スイッチインタビュー



こまちぶらすは毎月1回、店舗を閉めてスタッフミーティングを行っていますが、ワークシェアをしていたり事業部によって活動する場所が異なったりするため、スタッフ同士でじっくりと話す機会が少ないので現状です。そこで、2024年度から普段は顔を合わせることの少ないスタッフ同士でスイッチインタビューを開始しました。現在、vol.1～vol.5まで公開しています。ぜひともご覧ください。

猪谷 もともと子育ての支援にも興味もあつたっていうことなんですね。例えば、去年だとまちカフェで夏休みに子ども店長や子ども向けのワークショップを結構やっていましたが、そういう子どもの関わりも含んでいるんですか。

山本 そういうのもこよりどうカフェでできたりかなと漠然とは思っています。夏休みにワークショップを開いて、子どもたちが体験できる場ができたらいねなんて、こよりどうの他のスタッフとも話しています。ワークショップをしていて、お母さんとお子さんがふらっと遊びに来たりとか。

猪谷 ああ、いいですね。

山本 例えばね、10分か15分お子さんを見てから、お母さんはちょっと一服してみてみたいな感じです。そういう場ができるたらいいなって。

猪谷 こよりどうカフェの一角にワークショップみたいなものを置いて、夏休みの期間だけちょっとやれたりしたら楽しいかもしれないですね。

山本 そそう、例えば小学生向けに宿題を持ってきてもらって、一杯キッズドリンクを頬んでもらったら、その場で宿題もできる。お母さんたちはちょっと離れたところで休憩しながら見守る、とかね。小さい子も一緒に連れてきて、学童組とお母さん組と小さい子組でスペースが分かれ、でも同じ空間で過ごせる…そんな場があつても楽しそうだなと思う。…… (記事より一部抜粋)

…続きはこちの
二次元コードから
ご覧ください。



— こまちぶらすに関わるようになったきっかけ

山本 こまちぶらすに関わっていたお友だちから話を聞いていて興味を持っていたんです。こよりどうカフェでスタッフ募集をしていることを教えてもらって、こまちぶらすでやっていることをもっと知ることができたらと思います。」って誘われて、飾りつけを手伝っていたんです。ちょうどハロウィンの前だったかな。声をかけてもらったことで、子どもと一緒に通ったり、みんなで一緒にいろんなことができるっていう楽しさをそこで知ったかなって思います。

猪谷 私は入職が2023年3月なので、ちょうど1年経ちました! 子育てしながら働く場所(こまちカフェ)があるのはいいなと、頭の片隅にあこがれのようなものがずっとありました。そして、下の子どもが生まれたときにはウェルカムベビープロジェクトの出産祝いをもらって嬉しかった記憶もずっとありました。そんな折に、こまちカフェでスタッフをしていた友だちからウェルカムベビープロジェクトの事務の募集をしているという情報をもらったというタイミングが重なって、今に至ります。

山本 ウェルカムベビープロジェクトのプレゼントがもらえるって知ったのはお友達から聞いたのですか? それとも自分自身で見つけたのですか?

猪谷 当時、とっとの芽サテライトの近くに引っ越してきた頃だったです。下の子たちを連れて遊びに行った時に、チラシが貼ってあったのか…スタッフさんからもらったのか…プレゼントの存在を知って申し込みただのが一番最初のきっかけですね。

山本 そうなんですね。やっぱり子育て支援の場に行って初めて知るんですね。他にも知ったことって結構いっぱいありました?

switch interview



switch interview



2024年度 年間実績 ご支援・協働によって実現できしたこと

子育て中の親を中心とした対話と出番

のべ
20400人
程度

カフェ飲食の利用
イベントを開催・参加した人数



366人

産前・産後についての
講座やおしゃべり会に
参加した人数

121人

発達障害・ダブルケア
不登校・ひきこもりを
テーマにしたおしゃべり会に
参加した人数

新しくこまちパートナー
になった方の数

55人



のべ
580回
程度

こまちパートナーの方が
お手伝いをしてくれた数

3300件

こまちパートナーの方が
地域の子育てイベント情報を
入力してくれた件数

4件

こまちパートナーの方が
立ち上げた企画数

子育てに関わる人が地域で増えました

702件

「出産祝い」をお届け
することができた件数
(戸塚区のみ)

「出産祝い」の中に入る
背守りを縫ってくださった
地域の方(延べ人数)

112人

出産祝いのプレゼントを準備、協賛
してくださった企業数・団体数

16社



他地域に広がっています

カフェ運営に関する
ノウハウを展開した数

99件



約
760件

ウェルカムベビー
プロジェクト他3地区
(鶴見・松戸・茅ヶ崎) で
届けた「出産祝い」の数

戸塚の子育て情報を必要な人に届けました

3300件

地域の子育て情報の
登録数



1349件

戸塚の子育て応援ルーム
「とことこ」にて受けた
相談数



全国に向けて実施した講演
ワークショップの数

50件

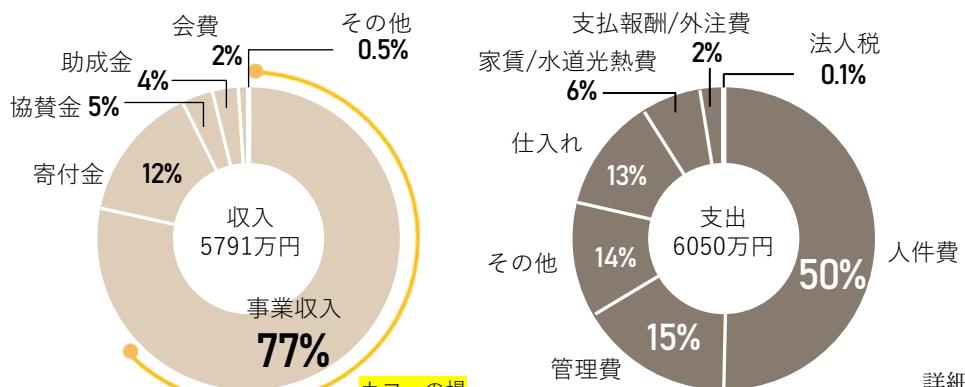


心地よい関わりが生まれるカフェ型居場所
の作り方講座を実施した累計地域数
(岡山・長野・北海道)

3カ所

2024年度 収支報告

科目	金額(単位:円)	前年比
事業収入 親子の居場所づくり事業 (カフェの場)	30,372,804	↗ 102%
提言・啓発事業	4,893,997	↑ 118%
チャレンジ事業	4,020,753	↓ 85%
委託事業(情報)	2,604,470	↓ 93%
コーディネート事業	2,202,790	↑ 113%
親の学び合い事業 (カフェの場)	253,060	↑ 113%
事業収入計	44,347,874	↗ 101%
助成金	2,140,000	↓ 94%
寄付金	6,843,107	↓ 62%
協賛金	2,833,910	↑ 128%
会費	302,000	↗ 101%
その他	1,446,243	↑ 105%
収入計	57,913,134	↓ 95%
人件費	30,161,978	↑ 104%
家賃/水道光熱費	3,524,521	↑ 110%
仕入れ	7,858,595	↑ 103%
支払い報酬/外注費	1,494,825	↑ 120%
その他(租税公課・消耗品等)	8,349,232	↑ 120%
管理費	9,038,184	↓ 79%
法人税等	74,500	↗ 100%
支出計	60,501,835	↑ 121%
収支計	▲ 2,588,701	



収入では、事業収入が7割を超えています。
また、約2割を寄付と協賛金により支えて
いただいている。

事業収入のうち約8割は「カフェの場」
での収入となっており、変わらず「場」の持つ
力が発揮されるとともに、この場があつてこそ
他の地域や他団体への展開等にも力を割くこ
とができます。

支出は変わらず約5割を人件費が占めています。
その他、運営に必要な家賃・水道光熱費
や仕入れ等で2割程度を占めています。

詳細の収支計算書(活動計算書)や
事業報告書はこちら▶



収入および支出推移

	収入	支出	単位:円 2020年度～2024年度
2020	37,464,610	37,254,326	+210,284
2021	38,309,017	37,844,836	+464,181
2022	46,899,413	48,892,871	▲1,993,458
2023	61,023,147	59,299,823	+1,723,324
2024	57,913,134	60,501,835	▲2,588,701

2024年度は、数字としては約258万円の赤字
決算となりました。想像を超える物価高や人
件費の高騰があり社会情勢も激しく変化する
中で、様々な対策を講じ、工夫を凝らして過
ごしていました。

今期は結果的に赤字となってはいますが、組
織運営や体制・仕組みづくりにも力を入れて
来られた一年間だったため、来年度以降に持
続可能な素地を整えることができたと感じて
います。

事業規模が6000万円台となり、今後もます
ます一人ひとりの力が活きるような運営を行
っていきたいと考えています。

こまちぶらすをご寄付で支えてくださっている皆さま

2024年度もこまちぶらすの活動に対し、あたたかいご支援を頂戴し、本当にありがとうございました。
今後も「子育てがまちの力で豊かになる社会」を目指して尽力して参りますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

K.M / 竹内 美紀 / kuroka / 高橋 麻衣 / J.I / 八幡 真弓 / 山本 雅美 / 伊藤 隆覚 / いけもんキッチン / A.N

竹下 誠 / 石黒 芳樹 / 東洋エニシア株式会社 / 大船こころの相談室 / H.K / ほりえ まさえ / 振屋 真梨奈

M.M / 保坂 美幸 / 室田 信一 / 堀田 聰子 / 鈴木 裕司 / s.s / 梶溪 奈美 / あさの / 清水 良介 / 鈴木 圓恵

上田 よう子 / 高村 美智子 / 上田 千津子 / M.T / 株式会社heartrade / 有限会社HEART.COM / 今野 伸子

善了寺 / 高橋 由奈 / 田島 敏子 / とつもり会 / 三木 孝仁 / 山崎 泰司 / 山崎 雅子

ご氏名掲載はご許可連絡を頂いた方のみとなります。
(敬称略 順不同)

ご支援いただいた企業・団体の皆さま

イミカ

CHUGAI 中外製薬
Roche ロシュ グループ

戸塚新聞

NOMURA
野村證券

Studio SAlice
スタジオアリス

SPORTS CLUB NAS
DaiwaHouse Group

横浜未来
ヘルスケアシステム

YAMANOTO PHOTO STUDIO
1940

明治安田
健康にアイデアを

DUSKIN
岡津支店

処方せん調剤・漢方薬・在宅訪問

仁天堂薬局

KAO
きれいを こころに 未来に

natural science

新しい、毎日を、お散歩しよう。
TOKYU PLAZA
OTOSUKA

大川印刷
OHKAWA PRINTING, SINCE 1881

その他多数の企業・団体の皆さまにお力添えいただきました。心より御礼申し上げます。ロゴ掲載は、ウェルカムベビープロジェクトへのご支援やチラシ協賛でご支援くださった企業・団体の皆さまのみとなっておりますこと、ご了承ください。
(順不同)

寄付者の声



高松 未穂さん

これまで、企業や団体が掲げるビジョンや理想は、どこか現実離れした“夢物語”的な印象でした。でも、こまちぶらすの活動を通して、その想いがちゃんと形になっていると感じることができました。自分が応援しているお金が、誰かの役に立っているんだと実感できて、あらためてよかったです。



鈴木 裕司さん

こよりどうカフェの2周年記念イベントに参加した際、代表の「2歳のイヤイヤ期」という言葉が印象的でした。大変なこともあるけれど、「3周年をおめでとう」そして「ありがとうございます」と言葉を交わせる日がくるだろう信じています。そしてこまちさんを知つてから、もう何年も経ちますが、その場の優しさがとても好きです。何回行ってもこの感覚は変わりません。

ー ご支援はこのようなことに使われていますー

ウェルカムベビープロジェクトを通して

500円で出産祝いを1人の赤ちゃんに贈ることができます。

産前産後の方々が集まる場をつくり、地域の子育て情報の発信をすることができました。



こまちカフェ・こよりどうカフェの場で

夏休み明けの「#学校無理でもここあるよ」キャンペーンで居場所をつくることができました。

産前産後のママたちのおしゃべり会を開催できました。

不登校/ひきこもり、お子さんの発達に心配のある方等のおしゃべり会を開催できました。

新作メニューの開発に使わせていただきました。

お花やおもちゃなどのメンテナンスに使わせていただきました。



団体概要

団体名／所在地
スタッフ／パートナー数

認定特定非営利活動法人こまちぶらす／〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町145-6奈良ビル2階

スタッフ 46名／こまちパートナー（登録ボランティア）371名

役員【理事長】森 祐美子

【理事】河合将生（office musubime 代表）

【理事】菅原健介（株式会社ぐるんとびー代表取締役）

【理事】吉川貴一（UiPath株式会社 執行役員）

【理事】棒田明子（NPO法人孫育て・ニッポン理事長、NPO法人ファザーリング・ジャパン、(一社)産前産後ケア推進協会幹事、ここみて港北代表）

【理事】大塚朋子（特定非営利活動法人こまちぶらすマネージャー）

【理事】山田顕子（特定非営利活動法人こまちぶらす事務局長）

【監事】瀬上倫弘（公益財団法人日本非営利組織評価センター事務局長、横浜市立大学客員研究員）

(2025年3月31日現在)